

Monthly Times



和歌山県立
串本古座高等学校串本校舎
平成 27年(2015年)1月号

2年 第2回進路ガイダンス開催

〈5年後、10年後の自分を考える＝自分の在り方生き方を考える〉

12/月8日(月)、2学年生徒全員が進路ガイダンスを受講しました。全体会では「2年生は、進路を考える上で大事な時期です。自分の目標をもって日々の生活に取り組みましょう。」というお話をいただきました。



また、2年生の今の時期になすべきことや目標設定の仕方などについても、あわせてお話をいただきました。その後の分科会では「就職」「公務員」「専門学校」「看護」「短大」「四大進学」の分野に分かれて、それぞれが目標とする進路にあわせた説明を受け、進路への思いを新たにしました。

報告：ちり取りを寄贈していただきました

串本町西向在住の南博さんから、お手製のちり取り20個を寄贈していただきました。校内の清掃美化に役立てたいと思います。皆さんも掃除の際は丁寧に扱ってください。ここで、掃除とかかわって、和歌山県出身の松下幸之助さん(パナソニック創業者)のエピソードを紹介したいと思います。



ちり取りから人生が見える

【掃除のエピソード】

松下電器が小さな町工場だった頃に、年末の大掃除の時にトイレだけが誰も手をつけていないことに気づき、松下さん自らが掃除をしたそうです。そのことがきっかけで、「モノを作るだけでなく掃除もできるような人間を作らねば」と気づき、後に松下政経塾を開くことになったそうです。松下政経塾では、松下幸之助氏が自ら指導したのはトイレ掃除だけだったというエピソードも残っています。トイレ掃除に限らず、掃除全般には人生に通じる奥深い真理が含まれているようです。

センター試験、11名が受験〈受験は団体戦〉

1/17日(土)、18(日)実施の大学入試センター試験に串本校舎から11名が和歌山市の向陽高校で受験しました。国公立大学の2次試験は前期が2/25(火)～、後期は3/12(水)～の日程で実施されます。受験生のみなさん最後の最後まで、油断せず、焦らず、あきらめず、みんなが一つになってがんばりぬきましょう。

こんな言葉を贈ります：僕らの前にはドアがある。いろんなドアがいつもある。ドアを大きく開けてみよう。広い宇宙の世界へ。『大河の一滴』〈五木寛之〉より

避難訓練〈1秒でも速く、1分でも高く〉

12/17日(水)6時間目、避難訓練を実施しました。1年生は裏山へ、2、3年生は体育館前を通り、雇用促進住宅裏の駐車場に避難しました。今回の避難訓練では、2階の渡り廊下が崩落したとの想定で普段とは違った対応を生徒に求めました。



当日は強風が吹く天候で気温も低く、生徒たちは寒さをこらえての避難となりました。

生徒総会 〈みんなが知恵を出し合って〉

12/18日(木)本年度第2回目の生徒総会が行われ、各クラスより出された要望を基に、球技大会や体育祭の種目変更、文化祭の開催時期、施設・設備に対する改善要望等について審議されました。生徒会執行部と中央委員の円滑な運営で議案どおりに総会が終了しました。今後、要望等については生徒会執行部と学校による話し合いが行われる予定です。



ビジネスマナー講座

〈将来にわたるキャリアを見据えて〉

1/16日(木)南紀若者サポートステーションから講師に山本桂子さんをお招きし、就職が内定している3年生26名を対象にビジネスマナー講座を開催しました。



挨拶の仕方や、電話のかけ方、取り次ぎ方、名刺の渡し方等、すぐに役立つスキルを学びました。講師の先生からは、「第一印象が大切なので、挨拶や笑顔、言葉遣いに気をつけて下さい。」「皆さんの笑顔と挨拶はとてもよい印象を与えています。自分の力に自信を持って頑張ってください。」と激励いただき、講座を終了しました。

—2月の主な行事予定—

- 2(月)＝交通指導・2年身だしなみ指導
- 6(金)＝マラソン大会・漢字検定
- 7(土)＝2年進学模試・全商ビジネス文書実務検定
- 10(火)～14(土)＝2年生修学旅行
- 12(木)～13(金)＝1年生インターシップ
- 16(月)＝交通指導・2年修学旅行代休
- 21(土)＝2年進学模試
- 24(火)＝1.2年学年末考査発表
- 27(金)＝卒業式予行・大掃除
- ※3/2(月) 卒業式9:00～

新春百人一首大会 ～文化のかおり高く～

「努力も才能もあると思ったら多分負けるんで、「ない」ものに会いに行きます。」(『ちはやふる』より)

※『ちはやふる』：競技かるたを題材としたマンガ作品。

1/23日(木)串本校舎図書館において図書館活動の一環として、串本校舎及び古座校舎生徒による新春百人一首大会2015決勝戦が催されました。串本、古座ともに事前の予選大会を実施しており、3名ずつが出場しました。序盤から山本佳奈さん(古座校舎)が実力を発揮し、みごと優勝しました。惜しくも2位は甲山豊君(串本校舎)、3位は山品楓さん(古座校舎)でした。観戦していた皆さんも高校時代にかえって百人一首の下の句を懸命に思い出している様子でした。



短歌紹介コーナー

- ①ササン朝ペルシアにひいた水色のラインはかすれ遠雷を聴く
- ②かえりたくなくてしりとりくりかえすかなりありありあかなりあ(漢字に直してみてください。カタカナも使用。)
- ③うづく、まるわたしはあらゆるまるになる月のひかりの信号機前

※三首とも作者は中家菜津子(歌人)

〈新企画：若手教員を育てる③〉

若手教職員を育てる、ということで、スタートした企画も第3回目を迎えます。今回は、初任の地歴・公民科、東芝稔先生の原稿です。

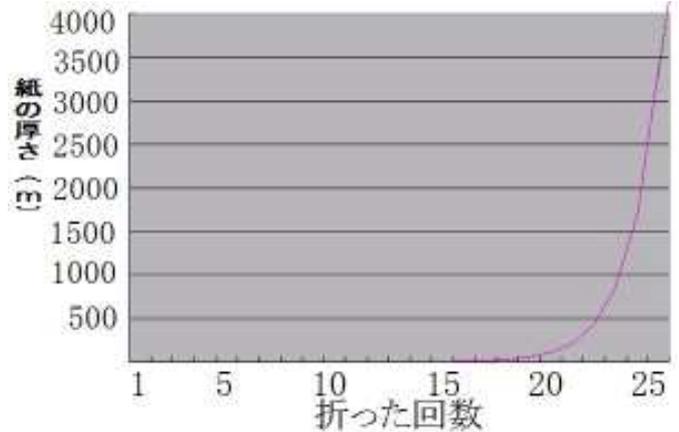
～Have A Dream～

皆さん、夢はありますか？よく言われることですが、夢や目標を持って生きることはすごく大事です。なぜだと思いますか？夢を持って生きている人は輝いている、壁にぶつかった時に立ち直る力となる、など答えは色々あると思います。私が考える理由の一つは、夢という明確なゴールをイメージすることで、そこに向かって頑張ろうとする原動力が生まれるという点です。例えば、マラソンで、「ここがゴールです、と言われるまでとにかく走り続けてください。」と言われるのと、「5km走りましょう」と言われるのを比べると、同じ5kmがゴールでも、どちらがより走る気がおきるでしょう。おそらく多くの人は後者だと答えると思います。だから、私はどんな小さなものでもよいので、皆さんには夢をもってもらいたいです。

しかし、夢は大きければ大きいほどなかなか叶わないもの

です。いきなりですが、皆さんに質問です。日本で一番高い山である富士山の高さは何mでしょうか？正解は3776mです。では、厚さ1mmのA4用紙を何回折れば、富士山の高さを超えるでしょうか？正解は・・・26回です。どうですか？意外と少ないと感じたのではないのでしょうか。この話を聞くと、夢が富士山の高さを超えることであれば、夢というものは自分が思っているより簡単にクリアできそうな気がします。

しかし、下の図を見てください。



見ての通り、16回目くらいまではほとんど変化していません。ようやく変化したことが見えてくるのは、20回目以降だと思います。夢を達成するというのもこれと同じ仕組みではないでしょうか。実際、今自分が成長しているのかということはわかりにくいし、あとどれだけ進めばゴールにたどりつくのかもわかりません。しかしながら、夢を叶えるためには、小さな努力と成長をくり返すしかないのです。そうすれば、知らぬ間に夢にたどりついているはず。

でも、頑張っても、頑張っても、夢が叶わないこともあります。私の高校生の時の夢はJリーガーになることでした。そのために、しんどい練習もたくさんやってきました。例えば、高校時代には30mダッシュを300本走ったこともあり、大学時代の冬場は、毎日1時間30分くらいは走りの練習で、あまりのしんどさに、18時間ぶっ続けで寝たこともあり。実は、高校3年生の夏に串本で合宿をしたこともあります。真夏の暑い日の昼間に毎日走り、夜には浜辺で部員全員でスクワット1000回やりました。皆で掛け声をかけながらやったので、遊んでいたカップルが気まずそうにどこかに行きました。という思い出もあります。

結局この夢は叶いませんでした。しかし、新たな困難に直面した時に、この夢を必死に追いかけているときにはわからなかった自分の成長に気付きました。夢をもち、それを叶えるために奮闘する。そこに大きな意味があります。そして、今、私は新たな夢に向かって奮闘中です。

夢があるから、希望もてる
 夢があるから、自分の将来の幸せを信じて生きていける
 夢があるから、小さなことでよくよしているヒマはない
 夢のためなら、困難も苦にならない
 夢があるから、成長できる
 夢があるから、生きがいがある
 夢があるから、自分は幸せ

[キング牧師の言葉より]

皆さん、夢はありますか？



大学時代の写真



大学時代の写真(30番の選手)